

Designers' Guide to Social Simulations, No.0

PlatBox & CB インストールガイド

Chap.1 動作環境の確認

Chap.2 PlatBox Simulator のインストール

Chap.3 Component Builder のインストール

Chap.4 Component Builder のソフトウェア最新

PlatBox Project



目次

第 1 章	動作環境の確認	2
第 2 章	PlatBox Simulator のインストール	3
第 3 章	Component Builder のインストール	7
第 4 章	Component Builder のソフトウェア更新	10

第 1 章 動作環境の確認

PlatBox Simulator の動作に必要な PC の環境は以下の通りです。

必須環境

OS : Windows 98/98SE/Me/2000/XP (日本語版)

CPU : 300 MHz 以上

メインメモリ : 128 MB 以上

推奨環境

OS : Windows Me/2000/XP (日本語版)

CPU : 700 MHz 以上

メインメモリ : 256 MB 以上

第2章 PlatBox Simulator のインストール

2-1◇ファイルの準備

まずはファイルのダウンロードを行います。

- ・ ダウンロードするファイルは、[PLATBOXALL-*****-Win]という名前の LZH 形式の圧縮ファイルです。
- ・ 「PlatBox Simulator インストーラー」と書かれている部分をクリックします。
- ・ ダウンロードウィンドウが開き「ファイルを開くか、ファイルをコンピューターに保存するか選択してください。」と表示されるので、「保存(S)」を選択します。
- ・ ダウンロード先を指定するウィンドウが表示されるので、デスクトップなど分かりやすいところに保存します。

保存が完了したら、その圧縮ファイルを解凍して下さい。

※*****の部分は年月日 (20050328 など) が入っています。

※圧縮ファイルの解凍には、解凍ソフトを使用してください。

例えば、「解凍レンジ」(<http://www.vector.co.jp/vpack/browse/pickup/pw5/pw005284.html>)、

「Lhasa」(<http://www.vector.co.jp/vpack/browse/pickup/pw0/pw000825.html>)、

「Lhaplus」(<http://www.vector.co.jp/vpack/browse/pickup/pw4/pw004641.html>) など。

解凍すると[PLATBOXALL-*****-Win]というフォルダが生成されます。

フォルダの中には次の図に示す 3 つのファイルが入っています。

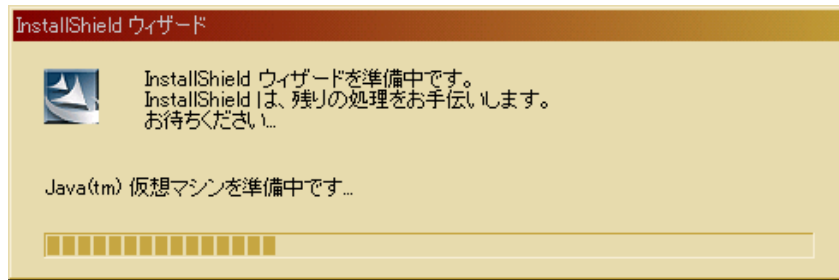


2-2◇Java 動作環境のインストール

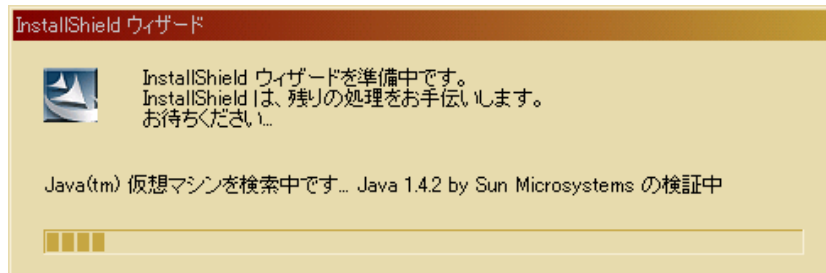
生成されたフォルダから[setupwin32]という EXE 形式のファイルを実行します。

InstallShield ウィザードが起動されます。

InstallShield は、まず、PC に Java が動作する環境があるかどうかを調べます。



Java が動作する環境があれば検証を行い、次に進みます。

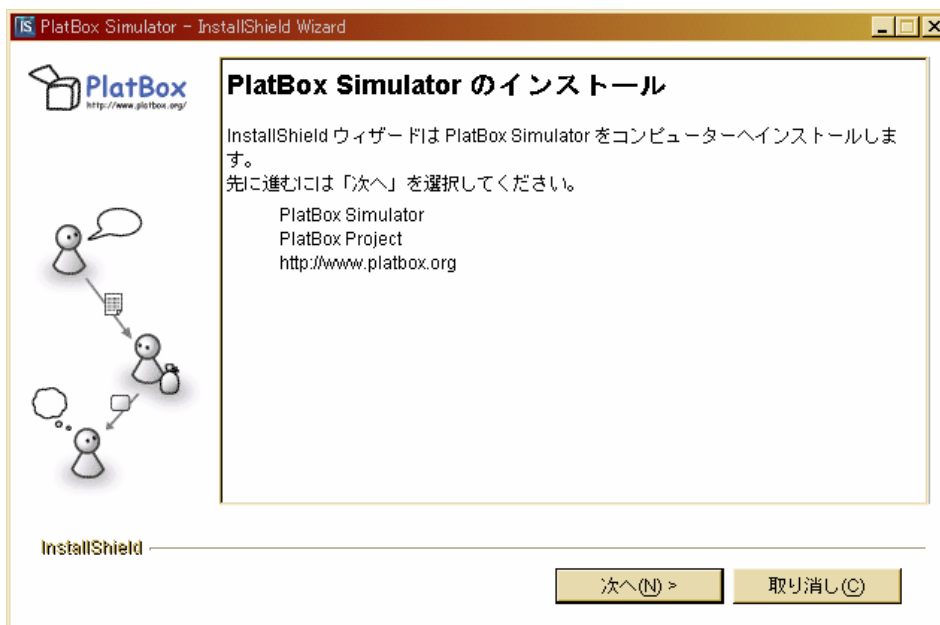


Java が動作する環境がない場合、Java SDK のインストールが行われるので画面の指示に従ってください。

PlatBox Simulator で動作するモデルは Java で実装されています。そのため、PC に Java が動作する環境を設定する必要があるのです。

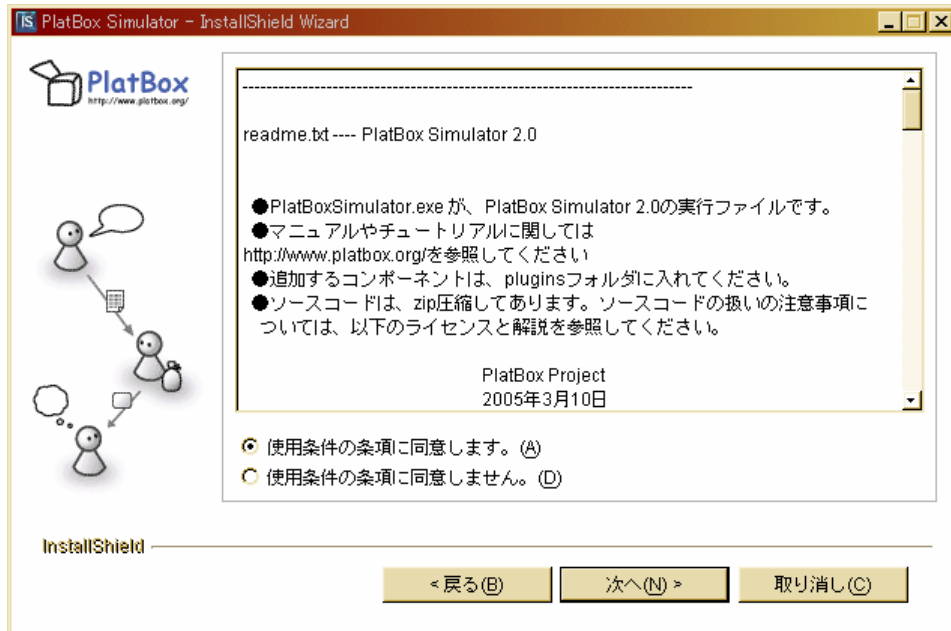
2-3◇PlatBox Simulator のインストール

Java が動作する環境が整ったら、次の画面が表示されるので、内容を確認して「次へ」をクリックします。



次に、使用条件を示した画面が表示されます。使用条件をよく読み、同意する場合は「使用条件の条項に同意します。」を選択して「次へ」をクリックします。

※同意しない場合、PlatBox Simulator はインストールできません。

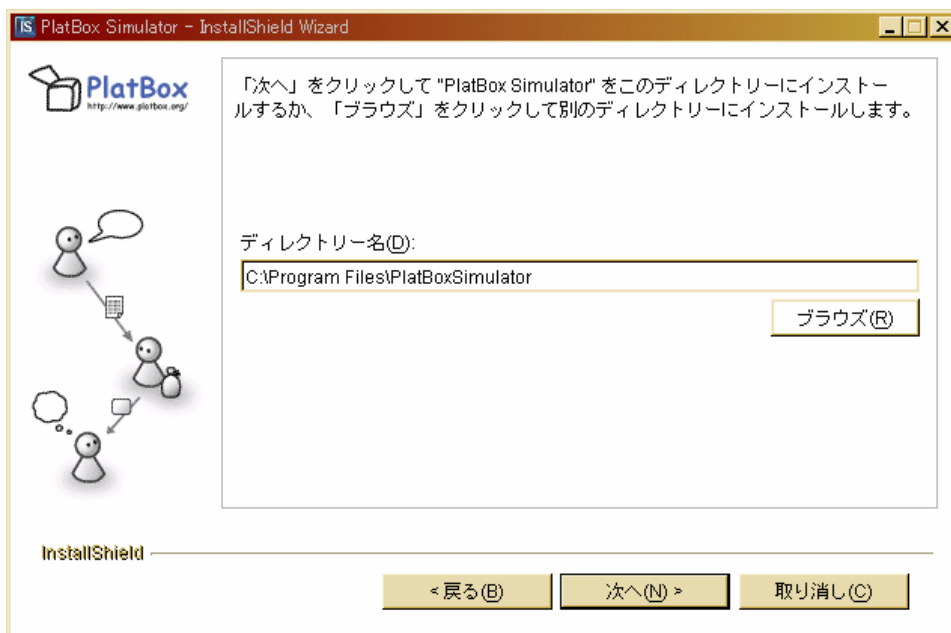


次に、PlatBox Simulator のインストール場所を設定します。

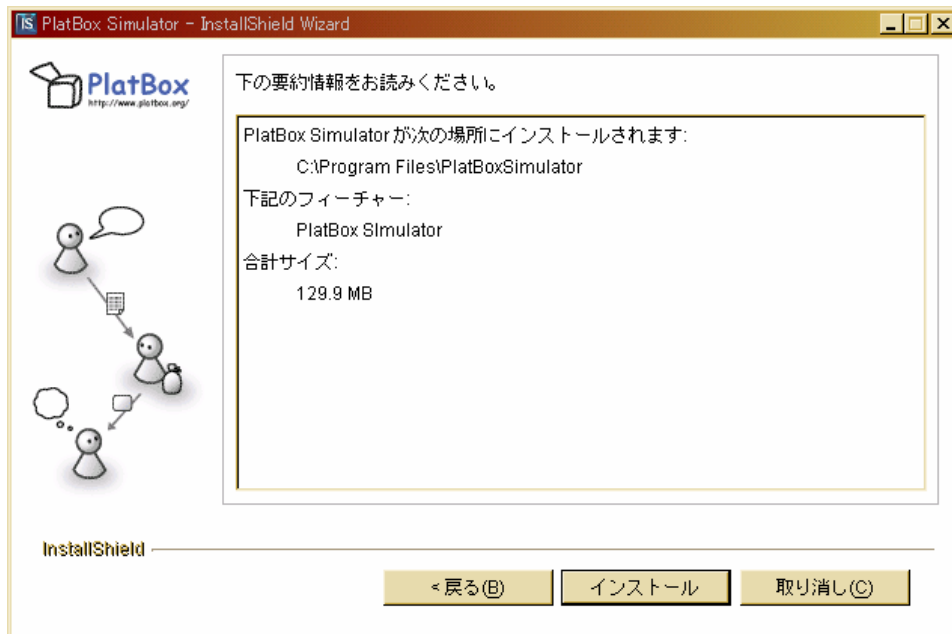
最初は[C:\Program Files\PlatBoxSimulator]に設定されています。

※ 別の場所にインストールする場合は[ブラウズ]をクリックして、表示されるダイアログでインストール先を選択します。

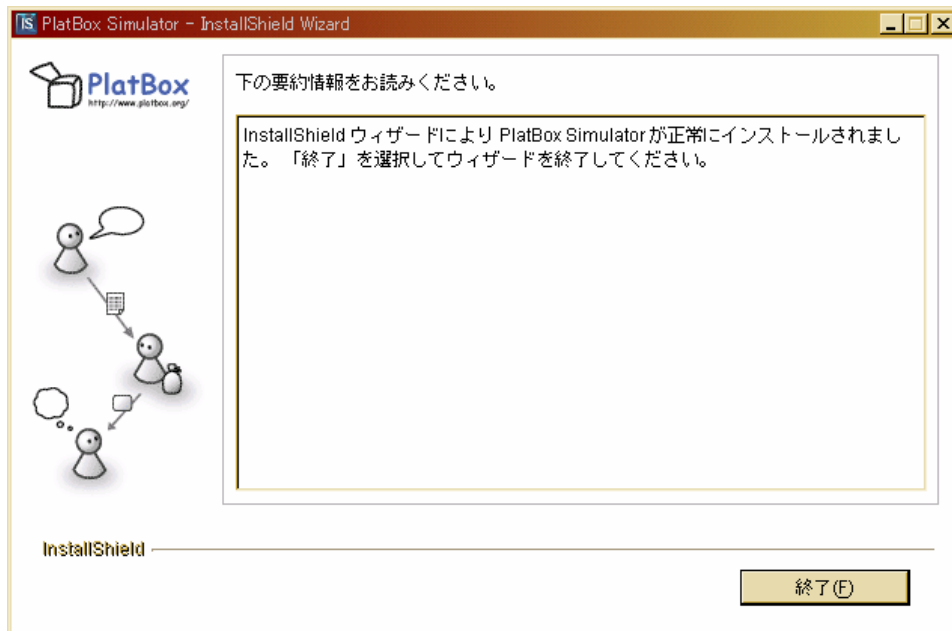
インストール場所を設定できたら、「次へ」を選択してください。



インストールの要約情報が表示されます。
内容を確認したら[インストール]をクリックします。



インストールが終了すると、次の画面が表示されます。
「終了」をクリックして InstallShield ウィザードを終了します。



以上で、PlatBox Simulator のインストールは終わりです。
デスクトップに PlatBox Simulator のショートカット・アイコンが生成されます。

第 3 章 Component Builder のインストール

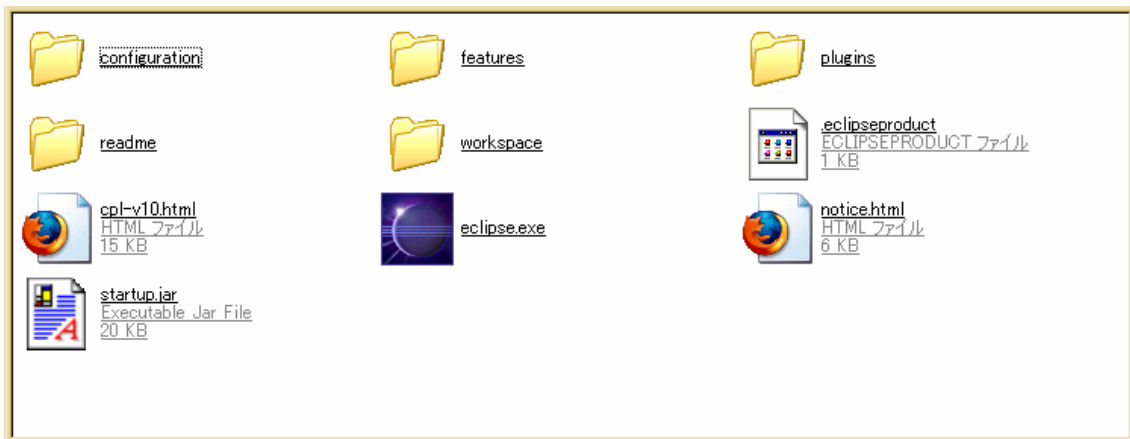
3-1◇ファイルの準備

Component Builder のインストールは、PlatBox Simulator のインストールが、[Step2]までの手順で既に行われていることが前提です。もし **PlatBox Simulator** のインストールが済んでいない場合は[Step2]へ戻り、インストールを行ってください。

古いバージョンの Eclipse および Component Builder がインストールされている場合、それらをアンインストールしてもしなくても構いません。eclipse は一つの PC に複数インストールし、実行することが可能です。

[ComponentBuilder]という名前の LZH 形式の圧縮ファイルを PlatBox Simulator のインストールと同様にダウンロードし、圧縮ファイルを解凍します。

解凍すると [eclipseForPlatBox3.0]というフォルダが生成され、その中には次の図に示すファイル、フォルダがあります。



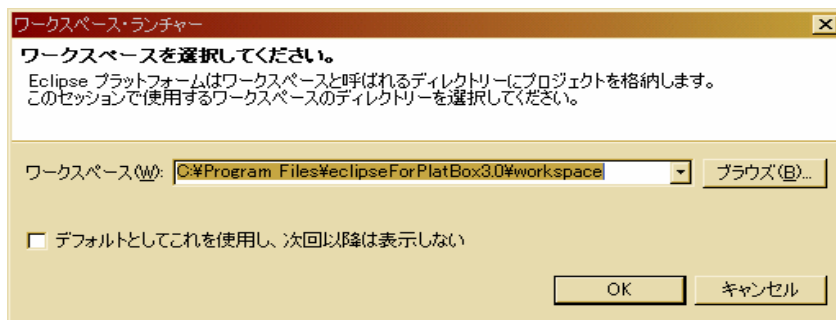
3-2◇Component Builder の設定

解凍してできた[eclipseForPlatBox3.0]というフォルダごと、C:¥Program Files¥ に移動してください。

その他の場所 (デスクトップ等) でも構いませんが、その場合、起動時に設定が必要になるので、どこにそのフォルダがあるかを覚えておいてください。

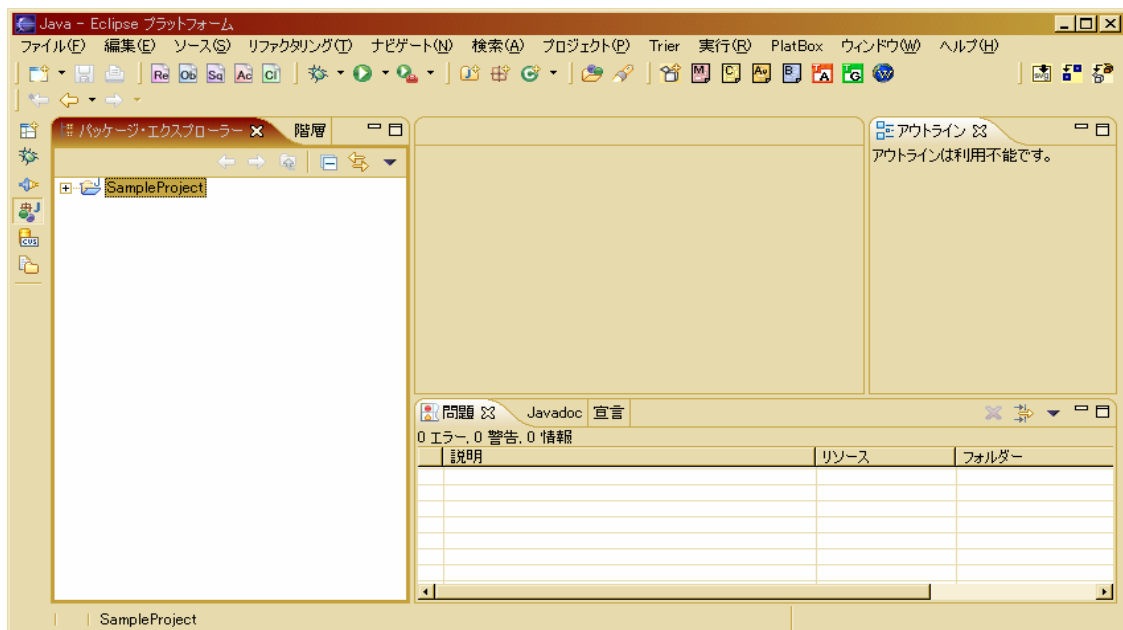
フォルダの中にある[eclipse]という EXE 形式のファイルを実行します。

「ワークスペースを選択してください」というダイアログが表示されるので、**[eclipseForPlatBox3.0]フォルダ内にある[workspace]フォルダを選択**します ([ブラウズ]をクリックするとワークスペースの場所を設定できます)。デフォルトの設定では、[C:¥Program Files¥eclipseForPlatBox3.0¥workspace]になっているので、前述の通りにフォルダを移動した場合はそのまま OK を押してください。



[OK]をクリックすると eclipse が起動します。

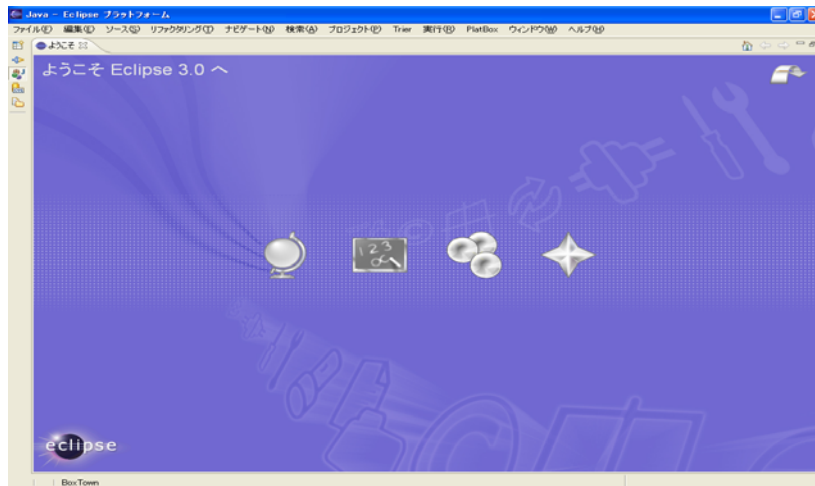
以下のような画面になることを確認してください。



今後、[eclipse.exe]から eclipse を起動できますが、ファイルを右クリックしてプルダウンメニューから[送る]—[デスクトップ (ショートカットを作成)]を選択してデスクトップにショートカットを作成しておく便利です。

以上で Component Builder のインストールは完了です。この後、必ず、次章の「Component Builder のソフトウェア更新」に従って、最新版にバージョンアップしてください。

***** eclipse 起動時に「ようこそ」画面が表示されてしまった場合*****



ワークスペースの設定が出来ていません。

起動した eclipse を一旦閉じ、解凍してできた[EclipseForPlatBox3.0]というフォルダごと C:¥Program Files¥ に移動してください。その際、移動先に同名のフォルダが自動的に生成されていることがありますが、気にせずに上書きしてください。

- ・フォルダの移動をせずに workspace の場所を指定したい場合

起動した eclipse を一旦閉じ、改めて eclipse を起動してください。その際、ワークスペース・ランチャー・ウィンドウが表示されます。「ブラウズ」で[EclipseForPlatBox3.0]を置いた場所の中にある[workspace]フォルダを選択し、「OK」を押します。

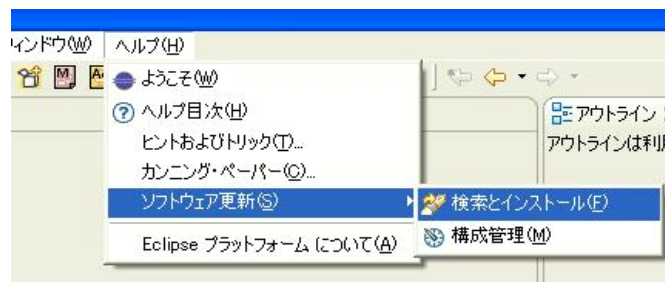
ワークスペース・ランチャー・ウィンドウが表示されない場合は、ComponentBuilder のメニューバーにある「ファイル」→「ワークスペースの切り替え」で同様にワークスペースの設定を行ってください。

第4章 Component Builder のソフトウェア更新

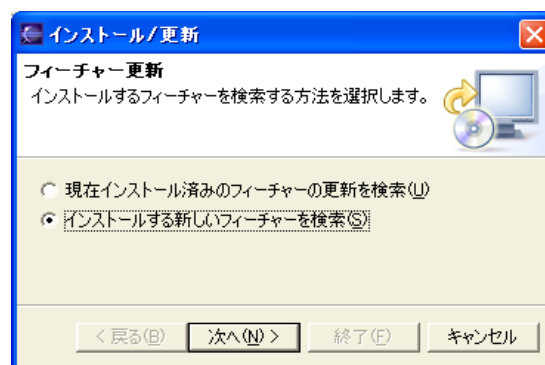
ダウンロードした Component Builder は、必ずしも最新版であるとは限りません。そこで、インストール後、以下の手順にしたがって、ソフトウェアの更新を行ってください（普段もこまめに最新版があるかチェックしましょう）。更新は、ネットワークに接続している必要があります。

初めて更新を行う場合

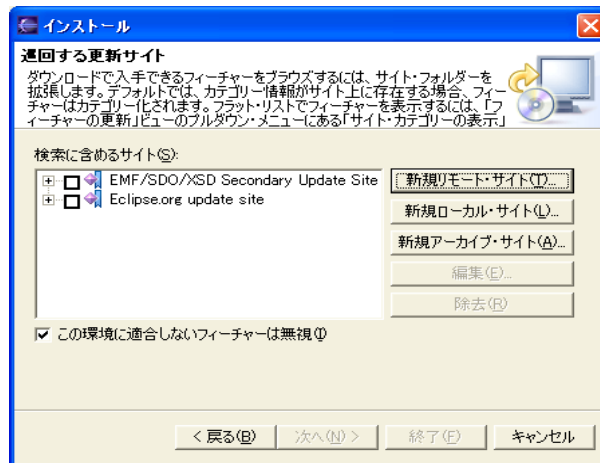
1. Component Builder を起動して、メニューの「ヘルプ」から「ソフトウェア更新」->「検索とインストール」を選択します。



2. ウィンドウが開いたら、「インストールする新しいフィーチャーを検索」を選択し「次へ」。



3. ウィンドウ右にある「新規リモート・サイト(T)」を選択してください。

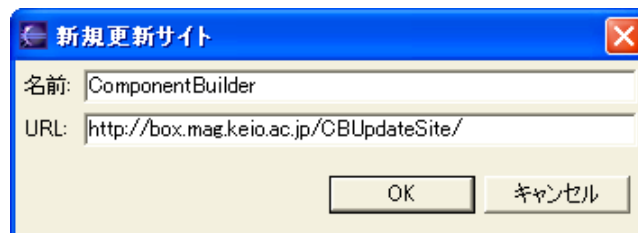


4. 情報更新サイトウィンドウが開いたら、

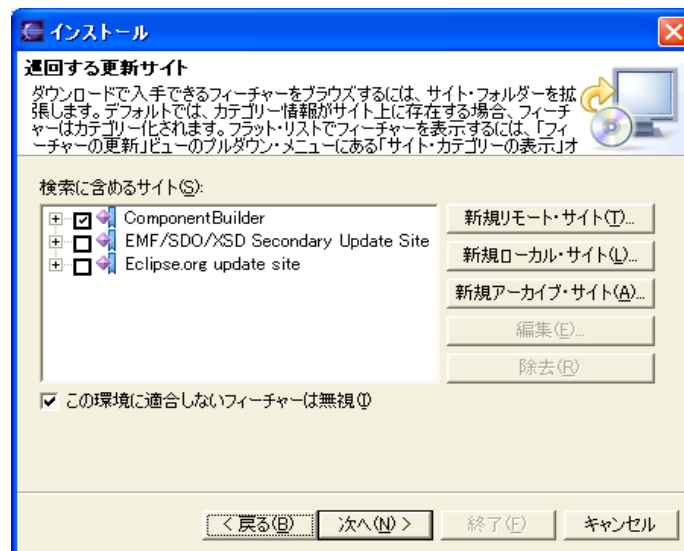
名前: ComponentBuilder

URL: <http://box.mag.keio.ac.jp/CBUpdateSite>

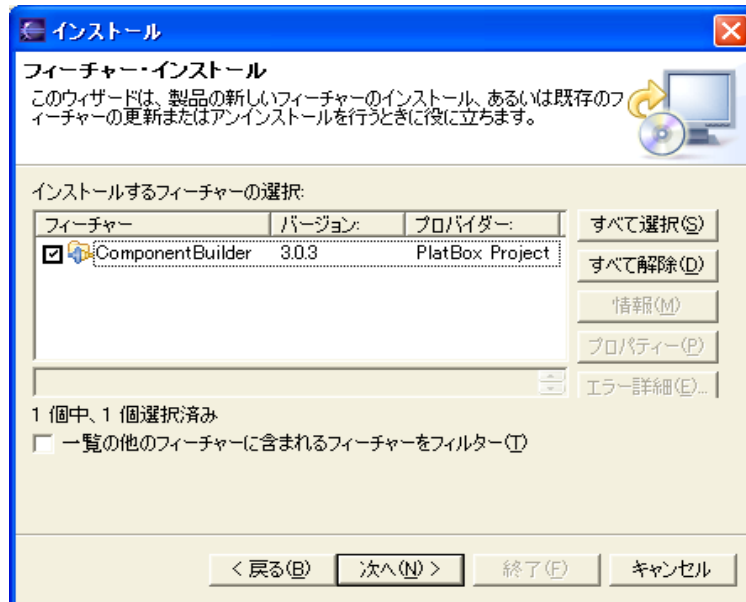
と入力し、「OK」を選択してください。



5. 「ComponentBuilder」が選択肢に現れるのでチェックボックスにチェックを入れ「次へ」。

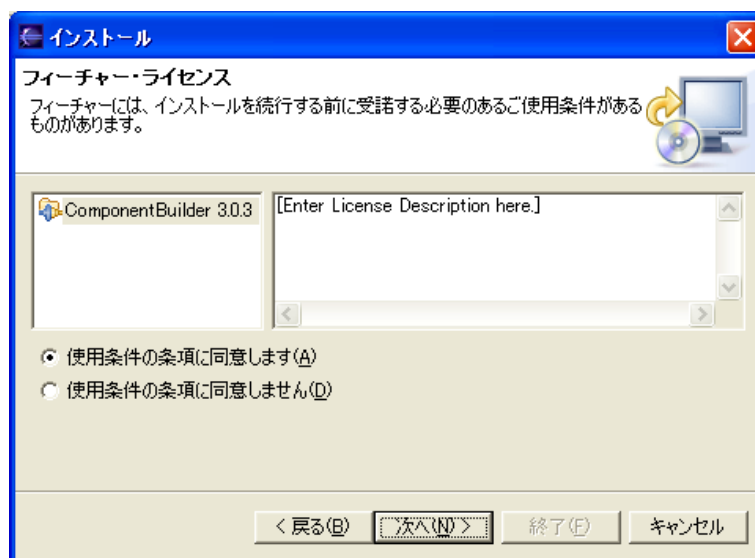


6.インストールすべき最新のバージョンがある場合、リストに **ComponentBuilder** が出てくるので、チェックし「次へ」を押します。もし、ここに何も表示されなければ、現在インストールされている **Component Builder** は最新版ですので、キャンセルして終了して構いません。



7.ライセンス表示が出るので、「使用条件の条項に同意します」をチェックし、「次へ」。

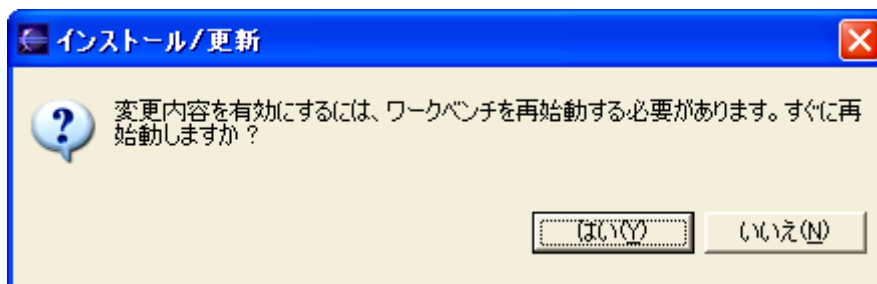
* 同意しないと、インストールできません。



8.インストール・ロケーションのウィンドウが開いたら、「終了」を選択してください。

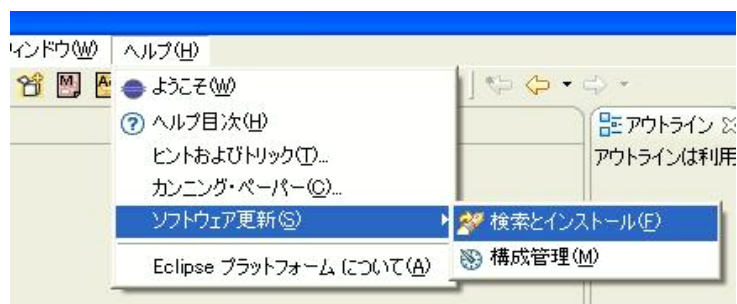
9.「警告: 署名なしのフィーチャーをインストールしようとしています。」と警告が出ます。今回に関しては心配ありませんので、「インストール」を選択してください。

10. インストールに成功すると「以下のような質問がされます。
「はい」を選択し、ComponentBuilder を再起動させます。

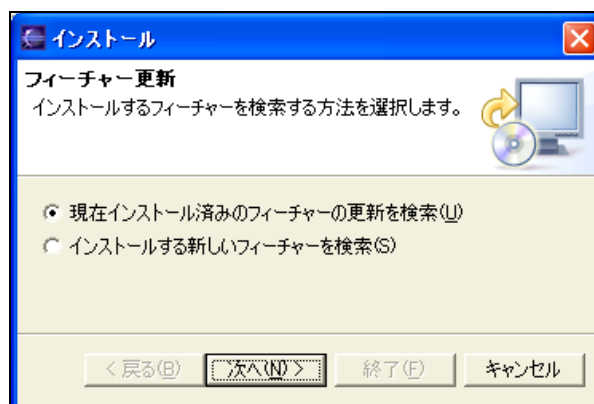


2回目以降の更新の場合

1. ComponentBuilder を起動して、メニューの「ヘルプ」から
「ソフトウェア更新」->「検索とインストール」を選択します。



2. ウィンドウが開いたら、「現在インストール済みのフィーチャーの更新を検索」→「次へ」。



3. 以下、初めて更新を行う場合と同様、表示にしたがって更新を行ってください。